

メバルには巣があるらしい。京都大学の大学院生の三田村君の研究によると、舞鶴湾の長浜で採集して発信器をつけてから離れたところで放流すると、メバルはちゃんと元住んでいたところに帰つてくるという。さながら出来の良い犬のようだ。驚いたことにプラ

スチックのカバーで目隠

をしてでも帰つてくる。

ある意味、犬よりもすぐ

れているかもしれない。

昨年の春、その三田村

君に頼まれて舞鶴湾内の

長浜から一キロ東で潜つ

た。「発信器をつけた魚を

放流したら、五匹は元

の場所に戻つたんですけ

ど、残りの四匹は放流し

固体はみな巣に戻つた」

目隠しても巣に戻る

メバルには巣があるらしい。京都大学の大学院生の三田村君の研究によると、舞鶴湾の長浜で採集して発信器をつけてから離れたところで放

流すると、メバルはちゃんと元住んでいたところに帰つてくるという。さ

ながら出来の良い犬のよ

うだ。驚いたことにプラ

スチックのカバーで目隠

をしてでも帰つてくる。

ある意味、犬よりもすぐ

れているかもしれない。

昨年の春、その三田村

君に頼まれて舞鶴湾内の

長浜から一キロ東で潜つ

た。「発信器をつけた魚を

放流したら、五匹は元

の場所に戻つたんですけ

ど、残りの四匹は放流し

固体はみな巣に戻つた」

メバル稚魚の群れ

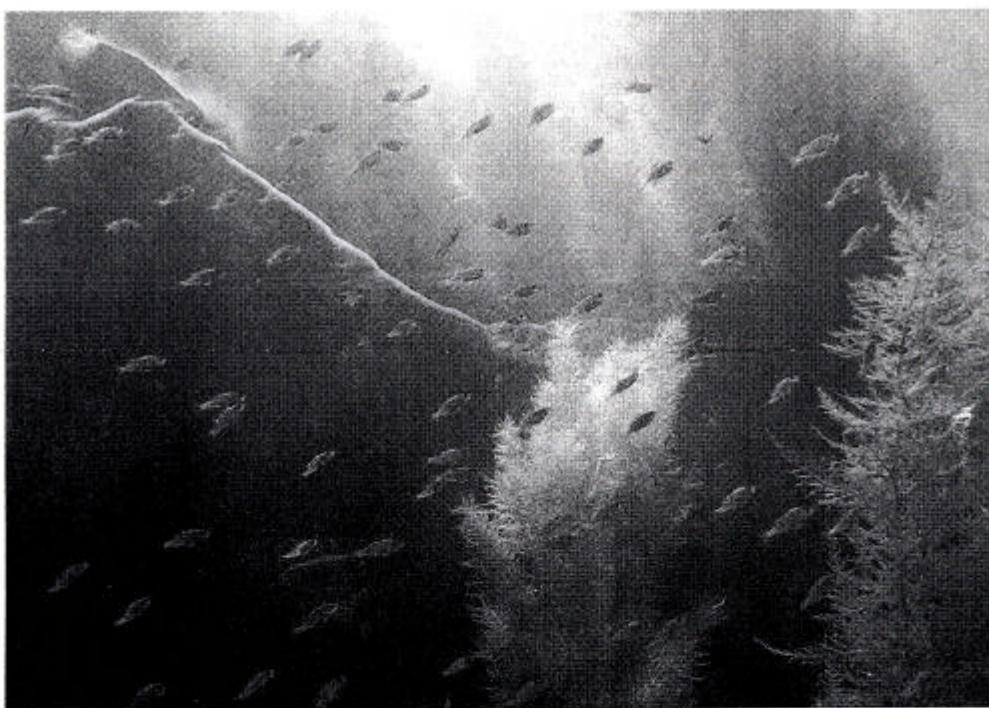
京大水産 実験所

益田 玲爾

若狭湾水中散歩

2

ようになるのだろう。いざにせよ、メバルたちが生きゆくには海藻の繁る岩場が不可欠である。人間様のご都合でやたらと海の中をいじくりまわされれば、メバルたちは途方に暮れるにちがいない。



海藻に集まる体長3寸の稚魚の群れ＝撮影地は宮津市越浜、水深2m